

海老名市立今泉中学校 学校だより

1月号 2023年1月10日発行



【学校教育目標】

地域とともに生き、たくましく、
しなやかに未来を拓く生徒の育成
～自ら学ぶ 自ら働く 自ら磨く～

住所 海老名市上今泉1840番地
電話 046-233-6341



Happy New Year!

昨年、保護者の皆様には、子どもたちが安心して学校生活を送れるようご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

「1年の計は元旦にあり」といいますが、各ご家庭ではそれぞれに新たな抱負や目標をもって新しい年をスタートされたことと思います。

年明けに行われる恒例の箱根駅伝をテレビで観ました。コロナ禍前は、毎年のように復路区間を沿道で応援しました。直接観ると、テレビで観戦するのに比べ選手の走るスピードがとても速いことに目を見張ります。全ての選手が私の観ている前を通り過ぎるのに20分ほどの時間です。しかし、各選手がこの日を目指しハードなトレーニングを積み重ねてきた結果の姿、表情などを間近で見ると、とても魅力的で、毎年足を運ぶようになりました。

駅伝は日本独特の長距離走の競技で、最大の特徴は「襷をつなぐ」ことです。言葉では簡単ですが、長い距離を全選手で襷をつなぎながらタイムを争うため、途中順位が大きく変動し、多くのドラマが生まれます。

襷には各チームの選手やその家族、スタッフ、更には元選手などの思いが込められ、歴史や伝統の重みがあります。箱根駅伝は、冬の寒い時期に行うため、天候の変化などにより、途中体調が悪くなりフラフラになっても襷をつなごうとする選手や、繰り上げスタートにより襷をつなげなかった選手が涙するシーンも見られます。

更に、ほとんどの選手は中継地点が近づくとラストスパートをかけます。「一秒でも早く次につなげたい」という思いが約20kmを走ってきた疲れに勝るのでしょうか。大勢の期待やチームの伝統が込められた大切な襷を、次の人に責任をもってつなぐことの重さや深さ、そして素晴らしさに感動を覚えます。

さて、三学期は短い期間ですが学年のまとめの学期で、駅伝というゴール前の最終区間です。自分の襷を次年度の新たなステージで待っている自分自身に、そして、3年生が創った今泉中の良き伝統を、引き継ぎ発展させようとする1・2年生の後輩にしっかりとつなげて欲しいです。

次のステージに向けての着実な一歩となるように、今日から、志を新たにスタートしましょう。そして「終わる三学期」ではなく、「つなぐ三学期」になることを期待しています。

学校長 成岡 誠司